

子宮頸癌検査

子宮頸がん検診ではベセスダシステムという判定方法を用いています。

ベセスダシステムに基づいた分類は以下の通りです。

【ベセスダ説明表】

ベセスダ分類	分類の説明	今後の対応
NILM	異常なし。正常な細胞のみ	年に1回の定期検診
ASC-US	炎症などによる軽度の異形細胞、異形成の疑いあり	HPV検査の結果陰性で1年後再検査
		HPV検査陽性でコルポ精密検査
	※HPVとはヒトパピローマウイルスのことで子宮頸がんの原因となるウイルスのこと	
	※異形成とはがんではないが、がんに進展する可能性がある病変のこと	
LSIL	HPV感染や軽度の異形成の疑いあり	コルポ精密検査
ASC-H	軽度から中等度の異形成の疑いあり	コルポ精密検査
HSIL	中等度、高度異形成、上皮内がんの疑いあり	コルポ精密検査
SCC	扁平上皮がんの疑いあり	コルポ精密検査
AGC	異形線細胞、腺がんの疑いあり	コルポ精密検査
AIS	上皮内がんの疑いあり	コルポ精密検査
adeno-carcinoma	腺がんの疑いあり	コルポ精密検査

※ASC-US、LSILは膣の炎症、ホルモンの影響で検出されることもある

※以前より経過観察中の場合、コルポ精密検査をしない場合がある

【フローチャート】

検診結果	正常		精密検査が必要(コルポ組織診)				
			悪性を疑う				
体がん	I	II	IIIa	IIIb	IV	V	
頸がん	NILM		LSIL				
			HSIL			SCC	
	ASC-US						
			ASC-H				
			AGC				
						AIS	adeno-ca

【コルポ組織診表】

コルポ組織診の結果(頸部組織診にて判定するCIN分類)		
病理結果	CIN分類	今後の対応
正常		6ヶ月～1年ごとにがん検診でフォローチェック
軽度異形成	CIN1	3ヶ月～6ヶ月ごとにがん検診でフォローチェック
中等度異形成	CIN2	3ヶ月～6ヶ月ごとにがん検診でフォローチェック
高度異形成	CIN3	他院へ紹介
浸潤がん	CIS	他院へ紹介

〒060-0003 札幌市中央区北3条西4丁目1番 日本生命札幌ビル3F

医療法人社団みぶな会 産科・婦人科ひなたクリニック

理事長 三橋 裕一

TEL 011-204-8000

FAX 011-204-8001

子宮体癌

分類	分類の説明	今後の対応
I	異常なし。正常な細胞のみ	年に1回の定期検診
II	炎症などによる軽い変化あり。悪性なし	年に1回の定期検診
III	一部の細胞に異常がある	再検査や組織検査
IV	悪性が疑われる	高次施設へ紹介
V	悪性と考えられる	高次施設へ紹介

〒060-0003 札幌市中央区北3条西4丁目1番 日本生命札幌ビル3F

医療法人社団みぶな会 産科・婦人科ひなたクリニック

理事長 三橋 裕一

TEL 011-204-8000

FAX 011-204-8001